

高知大学大学院総合人間自然科学研究科修士課程

海洋鉱物資源科学準専攻履修規則

〔平成 25 年 3 月 27 日〕
規 則 第 108 号

最終改正 平成 28 年 2 月 15 日規則第 78 号

(趣旨)

第 1 条 高知大学学則第 63 条第 2 項に基づき、海洋鉱物資源科学準専攻履修（以下「準専攻履修」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第 2 条 準専攻履修は、所属専攻の学問分野を深めつつ、海洋鉱物資源の経済・政治・文化といった側面を踏まえ、解析・生産・応用に関する最先端の技術開発・研究能力を領域横断的に身につけさせることを目的とする。

(申請・許可)

第 3 条 準専攻履修を希望する学生は、原則として 1 年次入学時に、所属する専攻の長を経て、研究科長に申請を行い、許可を得るものとする。

(指導教員)

第 4 条 指導教員については、主指導教員 1 名、副指導教員 1 名又は 2 名を指定する。

(履修方法及び単位数)

第 5 条 準専攻履修の方法は次のとおりとし、30 単位以上を履修するものとする。

(1) 必修科目

別表に定める科目から 3 科目 12 単位を履修するものとする。

(2) 所属専攻科目

所属する専攻の科目（第 3 号に定める科目のうち所属専攻で開講する科目を含む。）の中から、10 単位以上を履修するものとする。

(3) 海洋鉱物資源科学関連科目

別表に定める科目群 A～C から各 2 単位以上を含み、合計 8 単位以上を選択履修するものとする。ただし、前号に定める所属専攻科目として履修した科目を含むことはできない。

(学位論文の審査及び最終試験)

第 6 条 学位論文の審査及び最終試験は、「修士論文」又は「特定の課題」について行い、

研究の成果の審査及び最終試験に合格しなければならない。

(単位認定)

第7条 単位の認定は授業担当者が行う。

(学位)

第8条 学位に付記する専攻分野の名称は「学術」とする。学位記の各専攻名の後に「海洋鉱物資源科学準専攻」と明記し、所属専攻の修了者となる。

(履修の中止)

第9条 準専攻履修を中止しようとする学生は、所属する専攻の長を経て、研究科長に中止申請を行い、許可を得るものとする。

2 準専攻履修を中止した場合における修得済みの必修科目、海洋鉱物資源科学関連科目等の単位の取扱いについては、所属専攻の定めるところによる。

(その他)

第10条 この規則に定めるもののほか、準専攻履修に関する必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成26年2月17日規則第74号)

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

2 平成25年度の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平成28年2月15日規則第78号)

この規則は、平成28年2月15日から施行する。ただし、施行日の前日に準専攻履修である学生に係る2年次履修申請時の申請手続については、なお従前の例による。

別表（第5条関係）

科目区分		授 業 科 目	開設 専攻	履修開 始年次	単位数		備 考
					必修	選択	
必修科目		海洋鉱物資源科学特論	準専攻	1	2		
		海洋鉱物資源科学セミナー	準専攻	1	2		海洋鉱物資源科学に関する 内容（経済・経営の教育内 容を含む。）を、講義・講演 会・実習等として開講する。
		海洋鉱物資源科学特別研究	準専攻	1	8		
海洋 鉱物 資源 科学 関 連 科 目	A	海洋資源観測実習	準専攻	1		2	
		資源活用システム学特論	準専攻	1		2	
		同位体地球科学特論	理学	1		2	
		水圏環境化学特論	理学	1		2	
		資源地学特論	理学	1		2	
	B	水熱化学特論	理学	1		2	
		錯体化学特論	理学	1		2	
		核磁気物理学特論	理学	1		2	
		磁性物理学特論	理学	1		2	
	C	分子栄養学特論	農学	1		2	
		植物栄養学特論	農学	1		2	
		資源と生命	医科学	1		2	